

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	教育原理 I (Principles of Education I)	授業コード	K000351
担当教員名	藪内 聡和		
配当学年	1	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件	この授業の単位を取得するには、かなりの努力が必要です。教職に就くつよい意志を持つ人だけが受講してください。		
受講心得	私語・遅刻・居眠り・携帯電話の操作・飲食をしないこと。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	講義中に適宜指示します。		
関連科目	教職課程における全ての授業		

授業の目的	学生諸君が教師になったとき、次世代を担う生徒に、責任を持って真剣に教育活動を行うためには、いつも教育とは何かを問い、それに関する認識を深めていかなければなりません。そのためには教育の理念・目的・教育思想史に関する理解が必要不可欠です。そこで、この授業では、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」に関して、教育の理念・目的の諸問題および教育思想の歴史を学びます。
授業の概要	講義形式で、教育の理念・目的の諸問題および教育思想の歴史を学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：教育の理念1</b> 人間とは何かという観点から、教育は次世代に文化を伝達する役割があることを学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第2週：教育の理念2</b> 「学ぶ」能力と「教える」能力とは何かを学ぶことによって教育の理念を考察します。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第3週：教育の理念3</b> 人間の発達の観点から教育の理念を論じます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第4週：教育の目的1</b> 近代以前の教育と近代の教育を比較することによって、近代教育の目的を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第5週：教育の目的2</b> 我が国の「教育基本法」の教育目的を考察します。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第6週：ソクラテスとプラトンの教育思想</b> 産婆術を用いたソクラテスと、教育の理想をアイデアにみたプラトンの教育思想を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第7週：中世の教育思想</b> 神に向かって子どもを形成するという中世の教育思想を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第8週：コメニウスの教育思想</b> 子どもの中に人間の原型を見て、事物主義・感覚主義を主張したコメニウスの教育思想を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第9週：ロックの教育思想</b> イギリス経験論の立場から現実主義の教育を説いたロックの教育思想を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。
<b>第10週：ルソーの教育思想</b> 人間の自然状態を理想とし、「自然人」の教育を重要であるとしたルソーの教育思想を学びます。	ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連図書を読んでください。

<b>第11週：カントの教育思想</b> カントの教育思想		ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連 図書を読んでください。
人間性の理念の完成という立場から、理想主義的な教育を論じたカントの教育思想を学 びます。		
<b>第12週：ペスタロッチの教育思想</b>		ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連 図書を読んでください。
新人文主義の立場から、「直観」を重視したペスタロッチの教育思想を学びます。		
<b>第13週：フレーベルの教育思想</b>		ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連 図書を読んでください。
幼稚園を初めて設立したフレーベルの教育思想を学びます。		
<b>第14週：ヘルバルトの教育思想</b>		ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連 図書を読んでください。
教育の目的を倫理学に求め、訓育的教授論を論じたヘルバルトの教育思想を学びま す。		
<b>第15週：デューイの教育思想</b>		ノート整理をしてください。 授業で学んだ内容の関連 図書を読んでください。
実験的方法をもちいて児童中心主義の教育を論じたデューイの教育思想を学びます。		
<b>第16週：期末試験</b>		
授業で学んだ内容を試験問題とします。持ち込みは不可です。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	教育の本質と目的に関心が持てる。
<b>【知識・理解】</b>	教育の理念が理解できる。 教育の目的が理解できる。 教育思想史の概略が理解できる。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	教育の本質と目的を考えた上で、教育実践ができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	教育とは何かを自分で問うことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	30点	20点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	30点	20点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	授業内容をどの程度理解しているかを評価します。
発表・その他 (無形成果)	